

授業科目(ナンバリング)	栄養教育論実習 I (1B353) (実践的教育科目)			担当教員	川野香織・松尾嘉代子 (実務経験のある教員)		
展開方法	実習	単位数	1 単位	開講年次・時期	3 年前期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
管理栄養士として集団を対象とした的確な栄養教育を行える技術の修得をねらいとする。対象者の健康状況把握が管理栄養士として基本となることから、食事内容、食事量の算出の結果から問題を見出し、健康維持増進のために食生活の改善を実践できる栄養教育の技術をグループディスカッションやプレゼンテーションを通して修得する。							②③④ ⑥⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法		評価比率
専門力	修得した知識を応用し、集団教育の対象者のもつ問題について食および環境との関連を理解することができる。				・定期試験		35%
情報収集、分析力	集団教育対象者の持つ問題点を明らかにし、重点を絞った栄養教育を組み立てることができる。与えられた課題を読み取る力をつけることができる。				・定期試験		35%
コミュニケーション力	ライフステージおよびその対象者群の特質に沿った栄養教育・指導を平易な表現でもって実行可能なプレゼンテーションができる。				・プレゼンテーション及びロールプレイ		10%
協働・課題解決力	管理栄養士になることを自覚し、ライフステージに応じた栄養教育を行うことに意欲的に取り組むことができる。課題解決に向けて自らの考えを述べることができる。				・プレゼンテーション ・授業態度		10% 10%
多様性理解力							
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験による評価(70%)は、栄養教育論や臨床栄養・公衆栄養学を基礎とした栄養教育の実施内容を筆記試験で行う。プレゼンテーション及びロールプレイの評価(20%)は、与えられたテーマのアセスメント結果及び自らの考えやグループの意見を反映した課題解決のためのプレゼンテーションとなっているか、また、それが対象者にとって平易で理解しやすいものであるかを評価する。 ・授業態度(10%)は、グループでの作業へ取り組む姿勢や班員との協力態度、実習へ臨む態度の積極性等で評価する。 ・プレゼンテーションの取り組みや資料の提出等では、ポートフォリオを活用する。 							
授業の概要							
<p>栄養教育に関わる基礎学問領域の概要を理解し、栄養教育に応用できるようにする。そのうえで、ライフステージにおける集団教育および個別指導を想定し、その対象者のアセスメントを行う。抽出された課題解決のために、対象者にわかりやすく作成した媒体によりプレゼンテーションを行うことができることを主とした授業内容である。授業内では、教員の病院や保健所での実務経験から、各ライフステージにおける具体的な栄養教育の事例を通じたアドバイスをする等、より実践的な技術の修得へ導く。授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分である。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：「マスター栄養教育論実習」建帛社 参考書：日本栄養士会編「管理栄養士・栄養士必携」第一出版、「マスター栄養教育論」建帛社 「食品成分表 2018」女子栄養大学出版部、「日本人の食事摂取基準」2015年版 第一出版 指定図書：「マスター栄養教育論」建帛社</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>栄養教育を実施するにあたっては対象者との信頼関係が不可欠である。知識はもちろんのこと、栄養カウンセリング技法を十分に身につけ、対象者とコミュニケーションがとれる指導者になれること期待する。授業中の私語、携帯電話、メール等は厳禁である。また、無許可での途中退出は不可とする。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	栄養教育のための基本 (1-1)	課題献立から標準的な食品の重量の推測・栄養価計算	食品の重量・種類を確実に予習する。標準的な食品の重量等を復習する。
2	栄養教育のための基本 (1-2)	1回目で栄養価計算した内容と、対象者から聞き取った食事量との差を検討・修正	マネジメントに必要な栄養素等の把握手法を予習し、ポイントを復習をする。
3	栄養教育のための基本 (1-3)	課題栄養量算定の見直し～推測量と指導対象者から聞き取った食事量の差～ (プレゼンテーション)	栄養摂取量等から問題点を把握し栄養教育の方法を予習する。算定量の差の理由を復習する。
4	対象者別栄養教育 (2-1) (集団教育)	妊娠期 栄養教育に向けて計画の立案の作成	妊娠期の特質や問題点を抽出、マネジメント計画を予習する。妊娠期の特徴を復習する。
5	対象者別栄養教育 (2-2) (集団教育)	妊娠期 集団栄養教育に向けて計画立案に基づく指導の準備	妊婦へのプレゼンテーションに向けて予習する。分かりやすいプレゼンテーションを復習する。
6	対象者別栄養教育 (2-3) (集団教育)	妊娠期 集団栄養教育の実施 (プレゼンテーション)	妊婦への効果的なプレゼンテーションに向けて予習する。教員・学生等からの評価内容を基に、自分のプレゼンテーションを振り返る。
7	対象者別栄養教育 (2-4) (個別指導)	妊娠期 個別栄養教育の実施 (ロールプレイ)	妊娠期の個人が有する問題を抽出し、解決に向けての栄養教育を予習する。個別教育のポイントを復習する。
8	対象者別栄養教育 (3-1) (集団教育)	授乳期・離乳期・幼児期 集団栄養教育に向けて計画の立案を作成	授乳期・離乳期・幼児期に関連する特質や問題点を復習し、栄養教育計画を予習する。授乳期の栄養教育のポイントを復習する。
9	対象者別栄養教育 (3-2) (集団教育)	授乳期・離乳期・幼児期の集団栄養教育の準備	授乳期・離乳期・幼児期の特質や問題点解決のための教育方法を予習する。乳児期の栄養教育のポイントを復習する。
10	対象者別栄養教育 (3-3) (集団教育)	授乳期・離乳期・幼児期の集団栄養教育の準備	授乳期・離乳期・幼児期への分かりやすいプレゼンテーションに向けて予習する。幼児期の栄養教育のポイントを復習する。
11	対象者別栄養教育 (3-4) (集団教育)	授乳期・離乳期・幼児期の集団栄養教育の実施 (プレゼンテーション)	授乳期・乳児期・幼児期へ効果的なプレゼンテーションに向けて予習する。教員・学生等からの評価内容を基に、自分のプレゼンテーションを振り返る。
12	対象者別栄養教育 (3-5) (個別教育)	離乳期・幼児期 個別栄養教育の実施 (ロールプレイ)	事例から離乳期・幼児期の問題点の解決に向けて個別教育の方法を予習する。個別教育のポイントを復習する。
13	対象者別栄養教育 (4-1) (集団教育)	高齢期 栄養教育に向けて計画の立案の作成	高齢期の特質から問題点の抽出、マネジメント計画を予習する。問題解決のための教育計画を復習する。
14	対象者別栄養教育 (4-2) (集団教育)	高齢期 栄養教育に向けて計画の立案に基づく指導の準備	高齢期の問題点を絞り、問題となる課題に関連した教育計画を予習する。効果的な栄養教育を復習する。
15	対象者別栄養教育 (4-3) (集団教育)	高齢期 集団栄養教育の実施 (プレゼンテーション)	高齢者への効果的なプレゼンテーションに向けて予習する。教員・学生等からの評価内容を基に、自分のプレゼンテーションを振り返る。
16	定期試験		